

2025年度

安全計画

放課後等デイサービス にここ

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
避難訓練等			防災訓練(火災・地震・防災センターでの体験のいずれかを想定) 感染症研修	虐待研修(身体拘束)	不審者訓練	
その他 ※1						
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
避難訓練等	感染症研修	虐待研修(身体拘束)	防災訓練(火災・地震・防災センターでの体験のいずれかを想定)			防災訓練(火災・地震・防災センターでの体験のいずれかを想定)
その他 ※1						

◎避難訓練で災害に対する理解を深め、速やかに避難行動できるようにする。

※1 交通ルールが理解できるように配慮しながら散歩等へでかける。

事業所名	にこにこ				支援プログラム	作成日	2024年	9月	1日
法人（事業所）理念	子ども一人ひとりの将来を想像し、できる楽しさを引き出し、生きる力を育みます。								
支援方針	子どもが自分らしく生活できるように個性や特性を大切にして、個別支援計画を基に一人ひとりに合わせた療育や集団活動を通して社会性を身につけ、“たのしい（充実感）””もっと（好奇心）””やった（達成感）”と感じる心の育みを大切にします。								
営業時間	9時	30分から	18時	30分まで	送迎実施の有無	あり なし			
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	うがい・手洗いや検温を行い、健康管理や清潔保持が意識できるよう支援します。 食事、排泄、衣服の着脱、身だしなみ、掃除・整理整頓、マナーなどの基本的な生活スキルを獲得できるよう支援します。							
	運動・感覚	遊具を使った遊びや、工作などの指先を使った制作活動の中で、身体の動きをコントロールしたり、身体感覚の成長を育みます。 ダンスや音楽を聴くことで情緒の安定を図ります。 また、一人ひとりの感覚や身体機能の特性を踏まえ、環境調整なども行います。							
	認知・行動	学校の宿題や、一人ひとりに合わせて提供する「にこにこチャレンジ」の個別課題に向かう学習の姿勢を支援します。 また、待つ時間や余暇の時間の過ごし方を一緒に考え、一人ひとりが好きなことを見つけ、その子らしく生活を楽しむことができる力が育つよう支援します。							
	言語 コミュニケーション	話し言葉や身振り、絵カード・コミュニケーションブックなどを用いて、相手の意図を理解したり、自分の思いや要求などを伝達できるよう支援します。 また、一人ひとりに合わせてゆっくり話したり、理解しやすい言葉を使って伝わる喜びを実感できるよう支援します。 また、集団の中で必要とされるコミュニケーションスキルを身につけるために、教材などを使用したり、小集団でのゲームや会話の中で成功体験を増やしていきます。							
	人間関係 社会性	集団活動に参加したり、良好な人間関係を築いて社会生活を送るために必要なスキルが身につくよう支援します。 一人ひとりの行動の特徴を理解して、気持ちや情動の調整ができるよう支援したり、小集団の会話やゲームなどをする中で、いろいろな場面において適切な行動を理解して実践できるようにします。							
家族支援	ご家族の就労を支援し、ご家族の休憩時間を設け、学校と家庭との連携を密に行い、ご家族の子育ての不安や悩みなどを受け止めて前向きに物事が捉えられるよう関わり方などについてアドバイスを行います。また、保護者同士の交流の場を提供します。				移行支援	進学や就職などのライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けて準備を行います。家族への就労希望先などの情報提供や見学の調整を行います。			
地域支援・地域連携	併設の放課後児童クラブ「わんぱくクラブ」、相談支援事業所、舞鶴市こども家庭センター、法人内の放課後等デイサービス、法人内の高齢者施設、成人の事業所との連携を図ります。				職員の質の向上	事業所内研修、スキルアップ研修、法定研修(虐待防止・身体拘束・感染症)、防災・安全に関する研修、ケース検討会			
主な行事等	調理、夏祭り、クリスマス会、避難訓練、不審者訓練、公共施設への外出、制作活動、買い物体験、ダンス、サーキットあそび、工場見学、プール・川遊び								

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス にここ

公表日 年月日 2025年2月10日

利用児童数 2025年1月現在 21名

回収数 20 回答率 95.2%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19			1	・外でも遊ぶ所があるし、室内でも子どもそれぞれに過ごせるスペースもあり過ごしやすいと思います。 ・室内にトランポリンが外でも遊べてストレス発散でき、室内も十分なスペースがある。	限られた空間の中で場面に応じた場所が作れるようこれからも考え工夫していきたいと思います。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18			2	・状況によって声掛けして下さったり、見守って下さって安心しています。	現在、保育士3名（管理者含む）児童指導員2名（教員免許所持）合計5名を配置しています。より良い支援を目指し努めていきます。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18			2	・食事・学習・遊びと子どもたちが見ても分かりやすい配置になっていると思います。 本を見たりまったり過ごしたりする空間に、ここは何をする所と分かりやすく仕切つてあるのが落ち着いた空間で過ごしやすいです。	子どもたちに生活の流れが分かりやすいようにスケジュールを提示し見直しを持って活動できるようにしています。カードや写真を使い構造化に努めています。また、車椅子等も安全に移動できるようスロープ等もご用意しています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20				・とても清潔で遊び道具も整理整頓されていて子どもたちも片付けやすいと感じます。	安心・安全に過ごして頂くため、毎朝環境整備を行い施設内の点検や、玩具等の消毒も行ってまいります。	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19			1	・支援内容を工夫して頂きいろいろな経験をさせて頂いています。 ・我が子の好きな事、得意な事をより引き出して伸ばして下さっています。 ・話を何度も聞いてもらっています。そしてどうしたらよいか一緒に考えてもらっています。	にこここの支援方針でもある「自分らしさ」を大切に「楽しい（充実感）もっと（好奇心）やっただ（達成感）」を感じられるよう一人ひとりに合った支援ができるよう取り組んでいます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18			2		保護者の方々に周知して頂けるよう法人のホームページに掲載しております。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20				・丁寧に話を聞いて頂いた上で作成されていると思います。 ・宿題では早く終わらせるのではなく、丁寧に取り組める様に支援してもらっています。	可能な限り本人と話をしたり、保護者の方々との面談の中で思いを聞かせて頂き職員全員で話し合い作成させて頂いております。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18			2		「家族支援」「移行支援」については個別支援計画の中で明確に記載されていませんが、本人やご家族の意向を聞きながら行っております。どのようにしていくのがよいか現在検討しております。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19			1		個別支援計画を確認しながら課題等に取り組んでいます。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18			2	・職員やお友だちと鬼ごっこやダンスをしたり体をいっぱい使って活動ができて嬉しく思います。	活動プログラムを担当する職員を日々変える事により内容が固定化しないようにしています。各職員の得意分野を活かしたプログラムを考え実施しています。	
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	17		2	1	・夏祭りやクリスマス会等の季節の行事が一緒に出来て嬉しく思います。 ・遊びの時間は自由に部屋を歩き来出来て学校以外のお友だちと関わることが出来る。	当事業所は放課後児童クラブと併設されており、普段の生活の中でも交流を行っています。感染症の流行状況等を考慮しながら出来るだけ一緒に活動できるように考えています。		
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20					ご契約時にご説明させて頂いております。改定等があった場合はその都度ご説明させて頂いております。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19			1		個別支援計画が出来上がりましたら保護者の方にご説明を行った後承諾を頂いております。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14			6		現在の所出来ておりません。今後はご要望も聞かせ頂きながら開催していきたいと思っております。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	20					・送迎時や面談で話し合いが出来ます。	安心してご利用いただける様に子どもたちの様子や支援内容をお伝えするようにしています。また学校等の関係機関と連携を取り共通した支援が行えるよう努めています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19		1			・送迎時や面談で話し合いが出来ます。その時の大変さや悩み事を聞いてもらい助言を頂いています。 ・一緒に考えて答えを返してもらっています。	個別支援計画の説明時等でご家族の思いやご家庭での様子を聞かせて頂いております。ご相談はいつでもお声掛けください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20					・いつも親身になって聞いて下さり助けて頂いています。 ・寄り添った支援に感謝しています。	にこここでの様子をお伝えしながらご家庭と事業所が共通した支援を考え行っているよう努めております。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5		1	14		・コロナ禍から保護者会が開かれていない。 ・開かれているのか分からない。	当事業所では保護者の方々が交流できる場として「にここスマイル」があります。コロナ禍より活動はお休みさせて頂いておりますが時期を見ながら再開させて頂こうと考えております。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14			6		ご心配、ご不安な事等がございましたらどんなことでもお気軽にご相談下さい。入口に「ご意見箱」もご用意させて頂いております。口頭で伝えにくい場合はそちらも活用ください。迅速に対応させて頂けるよう心掛けております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20					話す事を大切に考え日頃から送迎時等にお話させて頂いております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17			3	ここにこだわりQRコードで写真をみることで遊びながら楽しんでいます。	活動の様子をお伝えする為、定期的に「ここにこだわり」を発行させて頂いております。また個人情報に留意しながらインターネットを通じてお便りに載せきれなかった写真を保護者の方向けに掲載しております。アンケート結果等は法人のHPにて公開しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20					お子さまの基本情報は勿論、写真掲載に関しても保護者の方々から許可を頂き対応しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17			3		契約の際にご説明させて頂いております。マニュアルは事業所内に保管しており閲覧はいつでもいただける様にしてあります。訓練に関しては定期的に行っており改善が必要な場合はその都度改定しご報告させて頂いております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15			5	起震車体験もさせて頂いております。	定期的に訓練を行い災害時に備えております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16			4		定期的に訓練を行いお便り等を通して様子をお知らせしております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17			3		万が一事故が起こった場合には保護者の方々に伺っている緊急連絡先へご連絡致します。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20				職員さんとの信頼関係が築けているので安心して過ごせる場所です。	今後も安心・安全にご利用いただける様に取り組んでいきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20				・お友だちに会える事、職員さんと一緒に遊ぶことが一番の楽しみになっていると思います。 ・とても喜んで行っています。	子どもたちと一緒に楽しみながら取り組んでいけるような課題をこれからも工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19			1	・得意な事、好きなことを伸ばそうとして下さったり、本人が楽しく過ごしているのが一番嬉しいです。 ・支援内容を工夫して、家では出来ない事等の経験をさせて頂き成長へと繋がっていると思います。 ・安心して子供の療育をして頂ける為、日数を増やして欲しいです。	希望している日数にお答えすることが出来ず大変申し訳なく思っております。当事業所の活動にご理解いただきご協力いただき心より感謝申し上げます。
	30	その他のご意見					・安心して預けられます。 ・学校で手先が器用になったと褒めて頂きました。丁寧に関わって頂いているからだと思いました。 ・何かあれば相談でき、安心して子育てができる感謝しています。 ・長休み等には色々な所へ連れて行ってくださりありがとうございます。 ・これからもよろしくお願いします。	子どもたちや保護者の方々と一緒に考え、取り組みながら成長を見守っていただけるそんな事業所でありたいと考えております。これからもご理解、ご協力の程よろしくお願致します。

公表 事業所における自己評価結果

公表日 2025年 2月 12日

事業所名		放課後等デイサービス にここ				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		活動に応じて部屋を分ける等工夫しております。	各児童が過ごしたい環境で活動できるように職員への対応や配置等職員間で留意しながら安全な支援を継続する意識をもつ。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		保育士3名(管理者含む)、児童指導員2名(幼稚園教諭、教員免許所持)を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		スケジュールを視覚化し、各部屋の隅には怪我防止用クッションを設置しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日の清掃に加え、活動に応じて配置を変えています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		児童の様子を見ながら必要と感じた場合は安心して過ごせる場所を提供するようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		半年に一度、法人が定めているDOCAP(Do Check Action Plan) 評価を実施し、日々研鑽に努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		年に一度アンケートを実施し、ご意向、ご意見等真摯に受け止め、支援内容の見直しや事業所の改善に努めております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		常日頃から職員間のコミュニケーションを大切に、質の向上に努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		実施しておりません。今後必要に応じて検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		園内研修の実施や外部研修への参加で職員のスキルアップを図れるよう努めています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		日々の送迎時や面談等で常に保護者のニーズを把握し、ご本人の思いも含めた個別支援計画を作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		ケース会議で意見交換をし、職員の共通認識の基検討しております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		職員全員で共有し、計画に沿った支援をしております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		保護者からの情報共有や子どもの状態を職員全体で把握し、日々の行動観察などから確認しております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		放課後等デイサービス計画に必要な項目を設定し、保護者や児童の意向を取り入れた支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		職員会議やケース会議等で話し合い、児童が楽しく活動できるようにチームで行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		季節行事等を取り入れ、いろいろな体験が出来るように工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		児童の様子や保護者からの要望を把握した上で作成しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		毎日ミーティングを行い、前日の振り返りや当日の内容を職員全体で共有し支援に取り組んでいます。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		送迎時に保護者から得た情報については迅速に共有し支援に反映できるように努めております。	

関係機関や保護者との連携	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		業務日誌・個別日誌において、気付いたことや体調等の変化を記録し、振り返りを行っています。その都度職員間で共有しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		半年ごとに計画の見直しを実施しています。また、時期に関わらず必要に応じて保護者と面談を行い、計画を変更することもあります。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画を基に「4つの基本活動」を組み合わせたプログラムを行っています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		活動の中に選択できる機会を設け、自己決定できるよう支援しております。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		各関係機関と連携して支援を行う体制を整えております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		各学校より毎月予定表を頂いています。また、担任の先生方とその都度情報共有をしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて見学等を行い、放課後等デイサービス計画の作成に活用しております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>		事業所から連絡が来る場合もあり、そういった際に連携しながら情報を提供することもあります。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		特定の機関との連携はしていませんが、研修等には積極的に参加しております。	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>		同施設内に児童クラブがあり、行事等では一緒に参加しています。		
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>			市内に自立支援協議会の児童を対象とした部会がないと認識しており、市内の放課後等デイサービスの連絡会を通して情報共有をしています。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		送迎時や個別懇談時に日々の支援内容や様子をお伝えしています。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>			ペアレント・トレーニングの実施はできていないが放課後等デイサービス計画についての話の中で家庭での様子を伺いアドバイスができるように心がけています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		契約時に、書面、口頭にてご説明しております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		面談を通して保護者の意向を確認し、子どもにも聞き取りをしております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		保護者との面談の中で要望を把握し、職員全体で五領域に沿った支援を実践する計画を立て同意をいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		面談や電話等で相談に対応できるように努めています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>			以前は行っておりましたが、新型コロナウイルスの影響から中止させていただいております。今後の状況を踏まえ実施を検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		いただいた相談や申し入れには迅速に対応するようにしています。また、再発防止に向け職員全体で考えていきます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		活動の様子をまとめた「にこにこだより」を年2回発行しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		取り扱いは慎重に十分注意しております。	
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		子どもの特性などを把握したうえで個別に対応しています。		

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		現在は行っておりません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを策定し職員全員が周知し、いつでも見ていただけるようにしております。また、定期的な訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的（年に4回）に火災、地震等に備えた避難訓練を実施しています。また、避難袋のチェックも行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者さんに情報をいただき職員全員で共有しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		現在は食物アレルギーのある子どもの利用はありませんが、状況に応じて対応させていただきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		年に一度安全計画を作成し、安全管理が十分にされた中で支援を行っております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に書面でお渡ししたり、取組内容についていつでもお見せできるようにしております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		職員がいつでも閲覧できるようになっていません。共有することで再発防止に努めております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的にアンケートを取り学童クラブ（わんぱく）との合同職員会議にて研修を行っております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		対象児童には保護者への説明、了解を得て個別支援計画に組み込んでおります。止むを得ない場合のみ短い時間で対応させていただきます。	